

## 第5学年2組 外国語科学習指導案

場所 5年2組教室  
授業者  
ALT

1. 単元名 Unit 6 What would you like? (東京書籍『New Horizon Elementary Course 5』)

2. 単元目標

外国の人に日本のおいしいものについてよく知ってもらうために東小レストランを開き、丁寧な表現を使って注文や会計のやり取りをすることができる。

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、レストランなどで食事をする際に丁寧な表現を使って注文したり、会計したりする表現について学習する。食は身近な話題であり、外国語活動でも互いの好みを聞き合ってピザやパフェを作る活動をしていることから、多くの子どもたちにとって魅力的な題材である。子どもたちは、外国語活動でほしいものを相手に伝える表現として What do you want? と I want … を学習しているが、本単元での学習を通して、What would you like? や I'd like … などの丁寧な表現があることを知り、場に応じたコミュニケーションができるようにしたい。

(2) 児童観

本学級では、今年度より外国語の指導を担当している。本学級の児童は、英語や世界の文化に興味をもっている児童が多いものの、英語を話すことに自信をもてないという児童も少なくない。間違いを恐れて言いたいことや分かったことなどを積極的に表現できずにいる場面も度々見られる。子どもたちが楽しく学習に取り組めるように、スモールトークやミニゲームなどを通して既習事項に繰り返し触れる機会を設け、自信を持って話せる表現を増やすことを意識して指導してきた。

(3) 指導観

本単元は、ケリス先生の出身国であるイギリスの料理を知ったり、日本を訪れる外国人観光客に関するニュースを知ったりすることで、子どもたちの「外国の人に日本のおいしいものも知ってもらいたい!」という気持ちを高めることからスタートする。その上で単元末に『東小レストランを開いて、外国の人をおもてなししよう。』という活動を設定した。外国の人に日本のおいしいものを知ってもらうためにレストランを開くという具体的な目的・場面・状況を設定することで、児童の興味・関心が高まり、本単元の言語材料を用いてコミュニケーションを行う必然性が生まれると考える。

単元の前半では、英語にも丁寧な表現があることに気づき、歌やチャンツなどで十分に音声で慣れ親しみ、ロールプレイなどを通して表現の定着を図る。単元後半では、実際に外国の人を招いて東小レストランを開き、丁寧な表現を使ってやり取りをしながら、社会科や総合の学習と関連させて日本各地の特産品や名物をアピールできるようにする。また、言語活動の評価基準を示した表であるルーブリックを児童と共有し、活動の見通しをもたせることで主体的に取り組めるようにする。

本時では、やり取りをする際に友だち同士ではなく店員と客であるということを意識させて丁寧な表現を使えるようにしたい。また、あいさつなどの既習表現も使いながら、より自然なやり取りになるように指導したい。活動の終わりには、タブレット上で単語や写真のカードを動かして文を作ること、語順に対する意識を高めたい。

4. 小中連携の視点

・本単元の題材である丁寧な表現でやり取りするというトピックは、中学校第1学年の教科書の Let's Talk4 で扱われており、レストランなどで注文したり質問に答えたりすることを想定した活動が設定されている。本単元の学習内容が素地となって、小中の学びの接続が図られると考える。

・昨年度に作成された中央台版 CAN-DO リストの活用に取り組んでいる。単元の導入で児童と CAN-DO リストを共有し、振り返りの場面で CAN-DO リストを活用する。また、形式については中央台南中学校の振り返りシートを小学生の実態に合わせてアレンジして使用している。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>&lt;知識&gt; What would you like? / I'd like ~./ How much is it? / It's ~ yen. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、相手の考えや気持ちを聞き取る技能を身につけている。</p>	<p>相手が食べたいものを知ったり、自分が食べたいものの値段を知ったりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えている。</p>	<p>相手が食べたいものを知ったり、自分が食べたいものの値段を知ったりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。</p>
話すこと (やり取り)	<p>&lt;知識&gt; What would you like? / I'd like ~./ How much is it? / It's ~ yen. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like? / I'd like ~./ How much is it? / It's ~ yen. 及びその関連語句などを用いて、互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分が食べたいものを伝えたり、相手が食べたいものを聞いたりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、互いの情報や考えなどを伝え合っている。</p>	<p>自分が食べたいものを伝えたり、相手が食べたいものを聞いたりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。</p>

※ 本單元における「読むこと」及び「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本單元内で記録に残す評価は行わない。

6. 単元の指導計画（全8時間）

時	目標◆／活動○／言語活動のテーマ※	評 価		
		知	思	主
1	<p>◆ 単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>◆ 丁寧にほしいものを尋ねたり伝えたりする表現を知る。</p> <p>※ 食べてみたいイギリスの家庭料理</p>			
	<p>○ ALT Presentation：イギリスの料理</p> <p>○ 来日外国人観光客数の推移</p> <p>○ Let's Sing: What would you like?</p> <p>○ Small Talk: What food do you like?</p> <p>○ Word Link「食べ物・飲み物」</p> <p>○ Starting Out</p> <p>○ Let's Chant ①I'd like a hamburger.</p> <p>○ 単元のゴールの共有</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「外国の人に日本のおいしいものを知ってもらうために、東小レストランを開いておもてなししよう。」</p> </div> <p>○ CAN-DO リストの共有</p>			<p>◎評価規準&lt;評価方法&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
2	<p>◆ 料理の注文や値段について、具体的な情報を聞き取る。</p> <p>※ ファミリーレストランでの注文</p>			
	<p>○ Sounds and Letters</p> <p>○ Let's Sing: What would you like?</p> <p>○ Small Talk: How much is it?</p> <p>○ Word Link「デザート」</p> <p>○ Let's Try①</p> <p>○ Starting Out</p> <p>○ Listening Activity</p> <p>○ Let's Watch and Think</p>	聞		<p>◎ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、相手の考えや気持ちを聞き取る技能を身につけている。&lt;行動観察・タブレットの記録&gt;</p>
3 本時	<p>◆ 丁寧な表現を用いてほしいものを尋ねたり伝えたりする。</p> <p>※ タイのフルーツショップでの注文</p>			
	<p>○ Let's Sing: What would you like?</p> <p>○ Small Talk: What do you want?</p> <p>○ Listening Activity：セットメニューを作る</p> <p>○ タイフルーツの紹介</p> <p>○ Let's Try：タイフルーツの注文</p>	話 や		<p>◎ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like? / I'd like ~./ How much is it? / It's ~ yen. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合う技能を身につけている。&lt;行動観察・タブレットの記録&gt;</p>

4	<p>◆ 値段を尋ねたり伝えたりする。 ※ アメリカのハンバーガーショップでの注文</p> <p>○ Sounds and Letters ○ Let's Sing: What would you like? ○ アメリカのハンバーガーの紹介 ○ Small Talk: How many ○○ do you want? ○ Word Link 「数」 ○ Let's Try : ハンバーガーの値段 ○ Let's Listen : ハンバーガーセットの値段 ○ Let's Try : ハンバーガーセットの注文</p>		聞	聞	<p>◎相手が食べたいものを知ったり、自分が食べたいものの値段を知ったりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えている。&lt;行動観察・タブレットの記録&gt;</p>
5	<p>◆ 東小レストランで紹介したいメニューについて考える。 ※ 日本のご当地メニューめぐり</p> <p>○ Sounds and Letters ○ Let's Sing: What would you like? ○ Small Talk: What would you like? ○ Word Link 「味」 ○ Let's Chant ①② ○ 社会や総合で学習したことをもとにして、東小レストランのメニューを考える。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>◆ 店員や客に分かれて、丁寧な表現を用いて注文や会計をする。 ※ 東小レストランのプレオープン (1,2 組合同)</p> <p>○ Sounds and Letters ○ Let's Sing: What would you like? ○ Let's Chant ①② ○ レストランの店員と客に分かれて、注文や会計をする。</p>		話	や	<p>◎ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like? / I'd like ~./ How much is it? / It's ~yen. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。&lt;行動観察・タブレット記録&gt;</p>
7	<p>◆ 東小レストランの店員になって、丁寧な表現を用いて注文や会計をする。 ※ 東小レストランのオープン</p> <p>○ Let's Sing: What would you like? ○ Let's Chant ①② ○ いわき市に住む外国の人や東小の 6 年生が食べたいものの注文を取ったり、会計したりする。</p>		話	話	<p>◎自分が食べたい料理を伝えたり、相手が食べたい料理を聞いたりするために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。&lt;行動観察・振り返りシート&gt;</p>

	<p>◆ 単元のまとめ</p> <p>◆ 世界と日本の食文化について考え、世界や日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>※ 自分がほしいフィンランドの雑貨</p>		
8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sounds and Letters</li> <li>○ Let's Sing: What would you like?</li> <li>○ ALT Presentation: 外国のテーブルマナー</li> <li>○ フィンランドのお土産紹介</li> <li>○ フィンランドの雑貨店での注文</li> <li>○ スピーキング・クエスト</li> <li>○ 単元の振り返り</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: middle; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sounds and Letters</li> <li>○ Let's Sing: What would you like?</li> <li>○ ALT Presentation: 外国のテーブルマナー</li> <li>○ フィンランドのお土産紹介</li> <li>○ フィンランドの雑貨店での注文</li> <li>○ スピーキング・クエスト</li> <li>○ 単元の振り返り</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Sounds and Letters</li> <li>○ Let's Sing: What would you like?</li> <li>○ ALT Presentation: 外国のテーブルマナー</li> <li>○ フィンランドのお土産紹介</li> <li>○ フィンランドの雑貨店での注文</li> <li>○ スピーキング・クエスト</li> <li>○ 単元の振り返り</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>		

7. 本時の目標

ていねいな表現を使ってほしいものを尋ねたり伝えたりすることができる。

8. 指導過程

段階	学習活動・学習内容	○指導上の留意点 評価	
		T1	T2 (ALT)
8分 導入	1. あいさつ 2. Daily Questions (月日・曜日・天気・時間) に答える。 3. Let's Sing: What would you like? 4. 本時のめあてをつかむ。 2つの映像を見て、どちらの表現がふさわしいのか考える。 A) What would you like? I'd like ~. B) What do you want? I want ~. ていねいな表現を使って、注文したり、注文を受けたりしよう。	・迷っている児童を支援する。 ○ 客と店員に分かれて歌わせることで、自然な会話に近い形にする。 ○ 具体的な外食の場面を提示することで、場にふさわしい表現を考えさせる。 ○ 単元のゴールを意識させるために、学習計画を確認しながら本時のめあてを提示する。	・児童に質問する。 ○ 児童が歌いやすいように T1 と役割を分担して歌う。 ○ 児童の理解を促すために必要に応じて出てきた表現を繰り返す。
30分 展開	5. Listening Activity 注文を聞いて、タブレット上でセットメニューを作る。 6. Let's Try ① タイのフルーツショップの写真やフルーツの紹介動画を見る。 ② T1 と ALT とのデモンストレーションを見る。 ③ ペアで食べたいものを注文したり、注文を受けたりする。 例) 店員: Hello. 客: Hello. 店員: What would you like? 客: I'd like a watermelon and a mango. 店員: A watermelon and a mango? 客: Yes, please. 店員: OK! ペアを変えて活動する。 ④ 自分が食べたいものについて、オクリンク上でカードを並べ替えて文を作る。 I'd like a (watermelon). 提出ボックスへ送信する。	・ALT と役割分担して注文のやり取りをする。 ○ 映像の内容を全体で確認することで、飲食店だけでなく店でも丁寧な表現が使われることを理解させる。 ○ 児童が活動しやすいようにフルーツ一覧をオクリンクで配付する。 ○ 表現を定着させるために児童の質問や困っていることなどを全体で共有したり、確認したりする。 ○ 表現の工夫を促すために、既習表現を使っているペアなどを取り上げて共有する。 ていねいな表現を使って注文したり注文を受けたりすることについて、What would you like? / I'd like ~. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。<行動観察・タブレットの記 ・オクリンクで並べ替えワークシートを配付する。 ○ 児童がタブレットを操作している間に個別に質問することで、定着度を確認する。	・必要に応じて出てきた表現を繰り返す。 ○ 児童が活動しやすいようにフルーツの名前を発音しながら確認する。 ・児童が言えなかったことを英語で表現する。 ○ 児童の理解度をより正確に確認するために見取るペアを T1 と交替しながら指導する。 ○ 児童の定着度をより正確に確認するために T1 と交替しながら個別に質問する。
7分 振り返り	7. CAN-DO 振り返りシートに記入する。 8. あいさつ	・子どもたちの感想を共有する。 ○ 今日の表現を確認することで、定着を促す。 ○ 次時の学習計画を確認して次時への意欲を高める。	・子どもたちの頑張りを褒める。